

第1部地域のまちづくりについて

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	消防署西分署及び西中学校多機能型体育館の整備について	消防署西分署の整備について進捗状況について説明させていただきます。消防署西分署を単独で整備することとなり、平成32年度の新東名高速道路の供用開始前に消防力を強化する必要があるため、平成31年度に施設整備の完成を目指し、取り組みを進めております。 現在は平成28年度予算に対応した委託業務を進めており、必要な機能をどのように配置するかを検討を重ね、近々、レイアウトなどが決まってくるかという状況です。また、地質調査は設計に先立ち実施しております。 今後の進め方についてですが、近々、整備事業のおおよその事業費が算出される予定ですので、来年度以降の西分署の建設に係る予算の確保に向けて準備を進めます。なお、施設の整備計画案としては現在の西分署に隣接する忠魂碑の跡地に、第1段階として新たな西分署の車庫以外の部分を整備し、第2段階として現在の施設を解体、第3段階として解体後に車庫部分を整備するという方法を検討しております。施設の規模も現在の規模に比べると、2倍近い床面積となり、訓練ができる設備等も整備したいと考えております。平成29年6月議会を経て契約、契約後に着工となり、工期は約2年、完成は平成31年7月頃という状況です。完成後には平成31年度中に救急車両の追加配備と化学消防ポンプ自動車の整備を行い、平成32年度当初に救急隊の増隊を予定し、整備後には訓練を行うなど、消防力の強化に取り組んでまいります。	消防総務課長	現在は実施設計が終了し、関係各課と環境創出行為に伴う調整を実施しています。また、今後の進め方において、平成29年6月議会を経て契約、その後に着工としておりましたが、9月議会を経て契約着工に変更となっています。	消防総務課

～進捗状況と今後の進め方～

西中学校多機能型体育館の整備について
事業者からの応募辞退を受けて、事業手法、整備内容の見直しを行い、地元の自治会の方々などからなる懇話会に意見をいただきながら事業の推進に向けて取り組んでいるところです。
整備手法は、当初計画の公設民営方式から、市が仕様発注し、建設、整備、管理運営を行う、従来の事業手法である公設公営方式としました。
整備内容は、西中学校体育館の建替えを基本に、将来の小中学校の施設一体化を見据えた中で、学校体育館や武道場などの学校教育機能と、新たな地域コミュニティ機能や地域防災機能などを兼ね備えた多機能型体育館として整備することとしました。なお、当初計画にあった室内温水プールは、現在の屋外プールをリニューアルすることといたしました。
今年度、多機能型体育館の規模や配置、機能、既存体育館等の跡地利用も含めた整備構想の策定を進めております。
来年度以降、この整備構想をもとに、消防署西分署の整備の進捗や、東京オリンピック・パラリンピックなどに伴う建設需要の動向なども踏まえつつ、総合計画後期基本計画の期間内(平成32年度)の完成を目指し、事業を進めてまいります。

教育総務課
長

平成28年度に策定した整備構想を踏まえ、29年度に多機能型体育館の基本設計を実施し、30年度以降に実施設計、建設工事に着手し、32年度の供用開始に向けて事業を推進してまいります。

教育総務課

<p>2</p>	<p>① 新東名高速道路の進捗状況について、②西地区管内の工事の進め方と安全対策をどのように考えているのか</p>	<p>① 別紙資料新東名高速道路工事の進捗状況に基づき9月30日未現在の進捗状況を説明。 高取山トンネル西工事について、文化財調査終了後順次工事を行っている。沢が2本あり、コンクリートBOXを作る作業や水路を迂回するための掘削作業を行っている。羽根トンネル工事はトンネルを掘削中であり、来年1月～2月に貫通し、工事車両が通る予定。葛葉川橋（下部工）工事について、工事用道路施工中で工事車両が通れるよう作業を進めています。秦野サービスエリア工事について、来年1月～工事予定となっております。詳細についてつめていく状況です。秦野インターチェンジ工事について、料金所まではNEXCO、それ以降は国交省の管轄で工事を進めています。秦野西IC工事の国交省が施工する箇所は、現在地権者との用地買収を進めており、残り1件という状況になっています。萱沼トンネル工事については、平成29年度契約予定です。 ② 現在、西地区では伐採を実施しております。今後、蔵林寺脇の県道706号及び市道79号は、新東名を跨ぐ跨道橋となる為、迂回路設置工事を開始し、迂回路完成後、迂回路に通行を切替させていただき、跨道橋の橋脚・橋台の施工に入る予定です。周辺に住居があるため、迂回路の線形が、厳しいものになるので、案内や注意喚起の方法を含めて、秦野署とも相談しながら、安全に工事を進めていきたいと、NEXCO中日本秦野工事より伺っております。工事用車両の通行ルートは、対策協議会、地元説明会で、NEXCO中日本より「市道811号、市道1800号、市道23号、県道706号を経由の渋沢駅前交差点より国道246号を基本としておりますが」、説明会での「渋沢駅前の国道246号交差点は朝夕を中心に、渋滞が予想される、分散させる事」のご意見を受け、工事用車両の交通量の変化による、渋滞状況を観察し、市道23号を経由し、堀川入交差点で国道246号のルートと市道23号、市道14号経由し、若松町交差点で国道246号のルートの分散を考えております。また、当該箇所は堀川小学校の通学路ともなっておりますので、小学校とも相談しながら、必要に応じて交通誘導員を配置し、安全に配慮しながら工事を進めてまいりますとNEXCO中日本より伺っております。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>① ・高取山トンネル工事は当日回答のとおり ・羽根トンネル工事は上り線がH29.2.13貫通、下り線の掘削を進めている。 ・葛葉川橋(下部工)工事は当日回答のとおり。 ・秦野サービスエリア工事は、矢坪沢樹木伐採、本線内の工事用道路を施工中。 ・秦野IC工事の国土交通省区間は用地買収が完了、埋蔵文化財調査の手続き中。 ②当日回答のとおり。</p>	<p>国県事業推進課</p>
----------	---	--	-----------------	--	----------------

3	<p>表丹沢の玄関口、渋沢駅舎の魅力アップについて 現在検討している複合施設と渋沢駅周辺が西地区の中心(活動拠点)となります。地元の人、初めて渋沢駅に降り立った人も、地域のやさしさ、季節感が感じられるヒュッテのような特徴ある駅(費用をあまりかけず)にならないか。</p>	<p>渋沢駅は、本市の代表的な観光資源である表丹沢への入り口です。さらには、頭高山や震生湖へのハイキングルートの起点・終点となっておりますので、登山客に加えて、ハイキング客も乗降されています。同駅の駅舎については山小屋を模したものと聞いていますが、地元の方や訪れたハイカー等が、表丹沢を感じられる意匠が十分ではないと感じられているために、この質問になったと考えています。</p> <p>渋沢駅と同じ小田急線の伊勢原駅については、伊勢原市の観光資源である大山をPRするべく、駅事務所の壁面に大山に関するデザインの壁紙を描いている状況もございますので、このような事例を参考にしながら、訪れた方に対して、表丹沢をアピールできるような本市ならではの施策が実施できるのかを小田急電鉄側にも投げかけて調整、検討していきたいと考えています。</p> <p>登山客の多くは、事前に下調べを行い、登山に備えられているかと認識しておりますが、渋沢駅を訪れた方にどのような情報を提供していくべきなのか、また、現在運営されている渋沢駅連絡所ではハイカー等に向けた観光パンフレットを配架しておりますが、今後どのように同連絡所を観光振興のために共用し活用していくのかを、庁内で検討していくものと考えます。</p>	観光課長	当日の回答と同じ	観光課
4	<p>曲松児童センターを西地区の拠点に 曲松児童センターは、公共施設再配置計画では、どのような位置付けか。児童館やいこいの家のように移譲することは可能か。</p>	<p>公共施設再配置計画は、人口減少と高齢化が進む中でも、次の世代に大きな負担を残さないようにしながら、大切な公共施設サービスを持続可能なものにしていくための取り組みです。</p> <p>このため、計画では2050年までに公共施設の床面積を約31%減らしていく必要がありますが、公共施設が持つ大切な役割を維持していくためには、施設を単独で維持するのではなく、学校を中心とした場所に集約していきます。</p> <p>また、計画の中では、児童館や、老人いこいの家などの小規模な施設については、集約後もできるだけ地域の身近な場所で、地域の皆さまとの協働によりその役割の一部を残していくために、自治会に移譲することも進めています。</p> <p>これに対して、曲松児童センターについては、児童館や老人いこいの家と同様に、建て直す予定の公共施設には含めていませんが、一定の規模があることから、地域への移譲は想定しておらず、耐用年数が到来するまで大切に使う予定でした。</p> <p>しかしながら、単位自治会ではなく、地区連合などの規模であれば、建物を維持していくことも可能になると思われまますので、西地区自治会連合として御希望であれば、課題を整理しながら検討を進めていきたいと考えています。</p>	公共施設マネジメント課長	当日の回答と同じ	公共施設マネジメント課

第2部市政全般について(公共施設の使用料について)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
5	<p>アンケートの回収率が49.7%ということで、公民館の利用者からもっと多くアンケートをとるべきではないか。それで公民館を実際に使用している人達の意見が反映されていると言えるのか。公民館の使用率が57%とあるが、使用料の引き上げについて、実際に使用している人数が少ないと負担が増え、大変。今でさえ負担が大きいと団体を辞める人がいる。引き上げ率について、段階的に上げていただけないか。</p>	<p>平成26年度の方針でコスト負担について定めさせていただいております。方針では稼働率50%の状態が必要となるコストの1/3をご負担いただくことを基準にしております。現状では使用料によるコスト負担率は15%程度になっておりますが、使用料の見直しにより20%少しに改善される見込みとなっております。1/3の負担ということはこれが33%にならないと達成されないこととなりますが、稼働率50%ということに注視していただきたいと考えております。現在、ここ西公民館の稼働率は30%、一番利用者の多い本町公民館でも48%となっております。西公民館をフル稼働することで、33%は達成されるものになっております。企業であれば一気に33%を目指そうということになるかと思いますが、そのためには今の使用料を4~5倍にしないと達成できないので、まず一定の方針に基づき、検討していくこととしております。使用料については2年間据え置き、その後見直すこととしております。その間、市でもコスト削減に向け取り組んでまいります。使用料については定期的に見直しを図ってまいりたいと考えております。</p>	<p>公共施設マネジメント課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>公共施設マネジメント課</p>

6	<p>公民館の利用者の多くは年金受給者で、健康の保持増進等のために公民館を利用しているが、その人達が病気になったとき、7割の公費が投入される。そのことを考えると使用料の引き上げは仕方ないと思う。引き上げは仕方ないが、段階的に、バランスを見て判断していただきたい。使用料について200円のところがあるが、それを高いと思っている人はほとんどいない。見直し計画では200円が100円になっていたが、200円のままでもいいのでその分を他の値上げの幅の抑制に充てていただきたいと思う。見直しの格差のばらつきを抑えていただきたい。</p>	(要望)	-	要望として承ります。	公共施設マネジメント課
7	<p>使用料は安すぎると考える。大きな会議室を1時間借りても200円である。20人で使用した場合、1人当たり10円である。利用する人はもう少し負担してもいいのではないか。経済も昔みたいに右肩上がりではなくなっており、行政の負担軽減も考えなければならないので、利用者が使用料を負担することで問題ないと思う。</p>	(要望)	-	要望として承ります。	公共施設マネジメント課

8	<p>公民館の使用料の話が中心となっているが、公共施設をもう少し広く捉えてもいいのではないかと考えている。例えば運動公園の駐車場。こちらは現在無料だが、実際に運動公園施設を使用する人達がどれくらい駐車しているのか。毎朝同じ場所に同じ車が駐車されているのを見ると、近くの会社に行くために駐車しているのではないかと感じてしまう。満車の時そのような状態だと本当に施設を使用したい人が駐車できず、周囲をぐるぐる回ることになり、交通安全上相応しくないのではないかと考える。このことについて、利用者の意見を聞き、うまく合わせるよう考えてもらいたい。</p>	(要望)	-	要望として承ります。	公共施設マネジメント課
---	--	------	---	------------	-------------

9	<p>応分負担は基本であると考えているが、公共施設の運用にあたり、ゴールをどこに設定し、57%の使用料UPにより、それがどれくらいゴールに近づくのか、企業でいうプロフィットが見えてこない。今回の引き上げでは不足分を補えないので、引き上げを見直すことにならないのか教えていただきたい。</p>	<p>平成26年度の方針でコスト負担について定めさせていただいております。方針では稼働率50%の状態が必要となるコストの1/3をご負担いただくことを基準にしております。現状では使用料によるコスト負担率は15%程度になっておりますが、使用料の見直しにより20%少しに改善される見込みとなっております。1/3の負担ということはこれが33%にならないと達成されないこととなりますが、稼働率50%ということに注視していただきたいと考えております。現在、ここ西公民館の稼働率は30%、一番利用者の多い本庁公民館でも48%となっております。西公民館をフル稼働することで、33%は達成されるものになっております。企業であれば一気に33%を目指そうということになるかと思いますが、そのためには今の使用料を4~5倍にしないと達成できないので、まず一定の方針に基づき、検討していくこととしております。使用料については2年間据え置き、その後見直すこととしております。その間、市でもコスト削減に向け取り組んでまいります。使用料については定期的に見直しを図ってまいりたいと考えております。</p>	-	<p>要望として承ります。</p>	<p>公共施設マネジメント課</p>
---	---	---	---	-------------------	--------------------

第2部市政全般について(その他)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
10	<p>新東名の工事の際、工事車両の搬入搬出路を色分けし、地図にして欲しい。</p>	<p>(要望) NEXCO中日本に依頼する。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>H28.7.6西地区対策協議会、H28.7.26住民説明会にて、「工事用車両の一般道通行計画」として図面提示済み。</p>	<p>国県事業推進課</p>
11	<p>表丹沢の玄関口、渋沢駅舎の魅力アップについて、地元の人でも分かる「魅力の書かれた案内板」を設置していただきたい。</p>	<p>(要望)</p>	-	<p>要望として承ります。</p>	<p>観光課</p>

<p>カルチャーパークについて、①カルチャーパークの名前のつけ方について教えていただきたい、②カルチャーパーク整備にあたり樹木が切られたが、どういう基準で、何本切ったのか教えていただきたい、③バラ園ができたが、年間を通じて管理をする人がいるのか教えていただきたい。</p>	<p>①名称について、昭和47年に運動公園の整備を行ったが、当時から周辺施設といった整備を「カルチャーパーク構想」と呼んでいました。今回それに戻した形となります。</p> <p>②樹木の伐採について、数については後ほど回答させていただきますが、樹木の高齢化と共に安全性の観点から新しい木へ植え替えをしていくことになっております。</p> <p>③バラ園の整備にあたり、野球場の駐車場は減りましたが、カルチャーパーク全体の駐車場は増えております。バラ園の管理についてですが、お金がかかり、管理も難しいと聞いております。現在はバラを植えた業者に管理を依頼しております。バラ園は健全者から障害をお持ちの方まで誰もが季節を感じていただきたいとの思いで整備しました。今後バラが成長しましたら、地元のシルバーの方に管理をしていただければと考えております。</p>	<p>市民部長</p>	<p>①当日の回答に同じ。</p> <p>②整備に伴い、約740本を伐採し、新たに140本を植樹しています。</p> <p>③当日の回答に同じ。</p>	<p>カルチャーパーク課</p>
--	---	-------------	--	------------------

12	<p>①名称について、構想があることは分かった。利用者は市民だけでなく、市外の人も利用している。文化会館、中央運動公園等名称は定着している。名称のつけ方は難しいが、名称は秦野のPRにつながるものがあるべきなのではないか。個別施設名のほうが覚えやすい。今までの名称に不都合があれば直したほうがいいが、不都合は無いように感じる。名称は大事にして市外から来る人も覚えやすいものにしていただきたい。</p> <p>②木について、病気等の関係できれいにしたと伺っているが、今の整備の仕方では散歩がしにくい感じがする。</p> <p>③バラ園について、専門家への管理委託などお金がかかるという話だが、将来を考えたとき合っていない感じがする。公共施設使用料の見直しの話があったが、それと比べるとバラ園の管理にお金がかかるという考えは相反しているのではないか。</p>	<p>まず、木についてですが、台風のために倒れ、根元から倒れているものもあります。樹木医に点検をお願いしておりますが、「木は育てるもの、森はみんなで守るもの」という考えがあります。次の世代のために植え替えも大切なことをご理解いただければと考えます。</p> <p>次にバラ園についてですが、小さなお子さんから高齢者の方まで幅広く楽しんでいただけるようつくりかえようという構想のもと設置いたしました。バラ園含め新しいカルチャーパークの利用者の増加を期待しております。カルチャーパークには6分に1本バスが通っており、また、水無川緑地を散歩されている方、小学生の課外授業等で訪れる方が多く、市民みんなの総合公園としていただきたいという思いがあります。色々な思いがあるのは分かりますが、次の世代にいい公園が安心して利用していただけるよう整備を進めてまいります。</p>		<p>市長 (カルチャーパーク課)</p>
13	<p>県道708号線について、交通量が多いのに歩道が無く、大変危ないので、何とかしてほしい。</p>	<p>(要望)</p>	<p>-</p> <p>拡幅計画は無い。平成28年度にて、堂坂バス停付近の歩道整備を完了した。曲松郵便局前後などでは、歩道整備の要望があるが、沿道に住宅があり地形的にも掘割構造である為、歩道整備の事業化には、沿道住民の理解と協力が不可欠と伺っている。</p>	<p>国県事業推進課</p>

14	<p>東京オリンピック開催にあたり、国内外からの来場者支援に向け、観光ボランティアに力を入れている自治体が増えているが、秦野市ではどのような取り組みをしているのか教えてください。</p>	<p>力を入れていかなければならないという認識でおります。国の施策でも「インバウンド対策」として力を入れており、秦野市においても、表丹沢一帯を周遊ルートに当てはめていこうと考え、協議会にも加わっているところです。観光ガイドの育成につきまして、現在観光ボランティアがありますが、観光協会が事務局を担っております。観光コースを企画したり、依頼があればご案内をしております。実際、外国語対応は十分ではありません。秦野駅の案内所は外国語対応ができますが、これは大切な問題であるため、観光協会と協力しながら育成に着手してまいりたいと考えております。</p>	観光課長	当日の回答と同じ	観光課
15	<p>前回の市政懇談会の際、秦野中井インターの高速バスの駐車場について、当日行ってみないと満車かどうか分からない。行って満車の時には高速バスに乗れないので、対策を考えていただきたいと要望したが、何か対策をしていただけなのか伺いたい。また、バス停が階段となっているので、スロープにしていきたい。</p>	<p>駐車場について、2名の地権者より無料でお借りしている状況であります。ご指摘いただきましたとおりでございますが、具体的対策についてはWebカメラの設置なども考えましたが、個人情報やコスト面などの課題もあり、一朝一夕に出来る問題ではなく、対策が講じ切れていない状況であります。やはり不安感というものがあるかと思っておりますので、ひとつの方法として目的外使用を排除するために現地で監視やチェックをしております。また、スロープの設置については、以前、管理者である中日本にお願いした経緯がありますが、機会をみて改めて話してみたいと思っております。</p>	公共交通推進課長	<p>スロープの設置について、再度、中日本高速道路に設置をお願いしましたが、「現在の急な階段にスロープを設置することは、スロープの勾配が更に急になるため、カートを引くとかえって危険になり、事故等の恐れもあるなど技術的な課題もあるため難しい。また、スロープを設置するためには、抜本的に階段の角度を変更する必要があるが、多額の改良経費がかかるため、現時点では対応できない。」の見解が示されました。技術的な課題はありますが、機会を捉えて、引き続き中日本高速道路と調整していきたい。</p>	公共交通推進課

16	<p>市の情報を得る方法について、広報はだの、市のホームページ、回覧、タウンニュースなどがあるが、タウンニュースの情報が早く、市のホームページにはそれが掲載されていないことが多い。市の情報発信について、ホームページの更新などうまくいっていない部分の対策はどのようにされているのか伺いたい。また、鬼怒川の堤防決壊の際、常総市のホームページは災害情報に特化したものに仕様変更されていた。秦野市では大規模な災害があった場合、ホームページの仕様は変更されるのか伺いたい。</p>	<p>ホームページの更新のタイミングですが、ホームページの更新は各課でできるようになっております。通常はまず市のホームページや広報に情報を掲載し、それからより情報を周知させたい場合タウンニュースへ掲載を依頼することになっております。実態としてご指摘いただきました事項があるということなので、持ち帰らせていただき、担当部署等へ報告させていただければと考えます。</p> <p>ホームページは広報課が担当しておりますが、災害時特設ページをつくらなければいけないという認識のもと調整、検討しております。</p>	<p>政策部長 防災課課長 代理</p>	<p>現在、災害時には、災害情報に特化した災害時特設ページに移行するような体制となっており、今後掲載する内容について調整し、検討して参ります。</p>	<p>広報課 防災課</p>
17	<p>駅前駐輪場について駅に有料のものはあるが、他には無い。できれば駅に無料でずっと置ける駐輪場がほしい。</p>	<p>(要望) 公設民営の駐車場があることの周知、放置自転車防止広報に力を入れていきたいと考えております。</p>	<p>くらし安全課 長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>くらし安全課</p>
18	<p>介護、住民税、公共施設利用について、誰しもが公共サービスを受けるので、現在非課税になっている人も住民税を払うくらいの働きをしていただきたい、また、介護と公共施設の利用は一緒に考えていただきたい、介護を受けなくてもいいように公共施設をどんどん利用して体を動かしてもらいたい、そのことも念頭において公共施設使用料の見直しをしていただきたい、介護保険料は累進にしてほしくない。</p>	<p>(要望)</p>	<p>-</p>	<p>要望として承ります。</p>	<p>高齢介護課 市民税課 公共施設マネジメント課</p>

19	<p>歯科検診が無料で受診できる旨のはがきが市から届き、受診したところ、無料ではなかった。このことについて所管課である健康づくり課に電話で問い合わせたところ、対応者が内容を理解しておらず、らちが明かなかったので分かる人に代わって欲しい旨依頼した。対応を引き継いだ人も内容について理解しておらず、話を通じなかった。困っている市民に対して詳細を説明していただくのは難しいことなのか。窓口対応には正職員だけではなく、臨時職員も対応するかと思うが、エキスパートに対応してもらいたい。健康づくり課だけではなく、市役所のいたるところがそのように感じる。市の方針について聞きたい。質問したことについて、後ほどの確かな回答があればいいが、今の状態では問題が解決しない。市民とのふれあいを掲げている市長に対して提案させていただきたい。地区別市政懇談会の開催目的は市民との意見交換だと思うので、それを有効活用したい。今回事前質問に対する回答が口頭であったが、資料が無く、説明を聞いてもまったく理解できない。今回の件も一年前に提案していることなのに、配布資料も少なく、公式な回答がない。これでは市との信頼関係が崩れるだけである。市は仕事のやり方がおかしいことに対して気が足りない。質問したことについてその場で流れちゃうと回答はないのか。自分の提案が劣っているのであれば仕方が無いが、自分が指摘していることは市にとってやったほうが良いことではないか。回答さえ無い現状では何をしたいのかよく分からない。もっと意見交換がしたい。</p>	(要望)	-	<p>お問い合わせいただいた歯周疾患検診の対応につきましては、正確な説明と対応ができず申し訳ありませんでした。職員の指導をしっかり行ってまいります。</p> <p>この検診は、秦野伊勢原歯科医師会に加入している市内の歯科診療所で受診可能となっており、対象者の負担金は無料ではなく700円となっております。なお、70歳以上の方や生活保護世帯の方、市民税非課税世帯の方は負担金が免除となります。</p> <p>無料の受診券が届いているとのことですので、負担金が免除となる要件に該当されていると思いますが、歯科医師会に加入していない歯科診療所で歯周疾患検診を受診された場合には、市の事業とならないため、受診料は無料にはならないことから、受診した歯科診療所が歯科医師会に加入しているのかご確認ください。</p> <p>次年度の地区別市政懇談会の開催に当たっては、ご意見を参考にさせていただき、まちづくり委員会と相談していきたいと思っております。</p>	健康づくり課 広報課 市民活動支援課
----	--	------	---	--	--------------------------